



秋竹小 学校だより

第151号 平成27年2月6日

薄氷の一瞬かける遊び雲

子育て講座

毎年、新入児の保護者を対象とした入学説明会と併せて、子育て講座を開いています。今回は、昨年度に引き続き、子育てネットワーカー一尾張西代表 三輪 絵里子 様を講師にお迎えし、「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマに、グループにわかれて話し合いをしました。

講演という、講師の方のお話をみんなで伺うという形が多いのですが、三輪先生は、ワークショップ形式で行ってくださいます。参加されたみなさんがグループに分かれ、テーマに沿って自分の経験や悩みなどを話し合います。そこへ、三輪先生も加わって話を進めていきます。いろいろと話をすることで、情報交換もでき、みんな同じように悩みを抱えていることがわかり、ほっとする場面もあったようです。また、中には、地域のお買い物情報に花が咲いたグループもあったようです。

和やかに話し合うことができたのも、講師の先生の気さくなお人柄に依るところが大きかったのですが、同じ年代の子どもをもつ親同士、心を拓いて話をすることがとても大切であることも、今回強く感じました。



大縄集会に向けて

秋竹小学校では、ここ数年、2月の取組として大縄大会が行われています。この取組は、学級対抗となかま班対抗の二種類です。

2月12日には、児童会主催の大縄集会が開かれます。なかま班での取組です。7分間に、八の字とびを何回跳ぶことができるかで競うものです。体育委員会主催の学年大縄大会とは違って、1年生から6年生までのなかま班で行いますので、低学年ほどたいへんです。特に1年生は、高学年と一緒に大縄を跳ぶのは初めての経験です。この集会は、「みんなで助け合いながら楽しく跳ぶ」というねらいですが、特に苦手な子や低学年の子も跳べるように考えることが大切です。

朝の練習を見ていると、なかなか縄に入ることができない子もいました。ある班では、タイミングをつかめない1年生の後ろに6年生が立ち、「今だよ」といって、肩を軽く押してあげます。自分から縄に入っていくことがなかなかできませんでしたが、5分ほど練習する間に何とか入っていけるようになりました。「それでいいよ」という周りの声。その次には、うまく跳ぶことができました。「〇〇君、タイミングをつかんだね」という声が、5年生からしました。1年生は、にっこり。一度コツをつかむと、後はもう大丈夫。リズムよく跳べるようになっていきます。

さて、来週の集会本番には、なかま班でどんながんばりが見られるか、楽しみです。

また、19日には、学年対抗の縄跳び大会があります。こちらに向けても、いろいろな学年が体育の時間などに一生懸命練習しています。これも、どんな記録が出るかとても楽しみです。



地域の方のお世話になって

1年生の生活科での出来事です。学級のみんなで、昔遊びの学習をしていました。凧揚げをしていたところ、あまりに強い風だったので、凧糸が手から離れ、凧が飛んでいってしまいました。

探しに行ってみると、学校南方の電柱の先に引かかっていた。早速中部電力に電話をして取っていただくようお願いをしました。その後、糸が切れて凧だけが飛んでしまったのですが、なんとその凧を地域の方が届けてくださいました。また、引かかっているときにも、近くの方がとろうとしてくださったようです。

10日(火)には、1年生と地域の方との昔遊びの会も計画されています。本当に、地域のみなさんにお世話になっている秋竹っ子です。

